



2019年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年4月8日

上場会社名 北興化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4992 URL <https://www.hokkochem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 喜勝
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 神原 靖夫 (TEL) 03-3279-5152
 四半期報告書提出予定日 2019年4月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年11月期第1四半期の連結業績（2018年12月1日～2019年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第1四半期	14,024	△8.4	1,697	△7.6	2,100	△6.0	1,558	△3.8
2018年11月期第1四半期	15,306	6.6	1,838	4.4	2,236	△14.0	1,621	△19.9

(注) 包括利益 2019年11月期第1四半期 1,297百万円 (△19.6%) 2018年11月期第1四半期 1,613百万円 (△42.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第1四半期	57.54	—
2018年11月期第1四半期	59.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年11月期第1四半期	46,578	25,231	54.2
2018年11月期	40,421	24,179	59.8

(参考) 自己資本 2019年11月期第1四半期 25,231百万円 2018年11月期 24,179百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	6.00	—	9.00	15.00
2019年11月期	—	—	—	—	—
2019年11月期（予想）	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年11月期の連結業績予想（2018年12月1日～2019年11月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	2.4	3,000	△4.5	3,900	△4.4	2,750	△6.6	101.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年11月期 1 Q	29,985,531株	2018年11月期	29,985,531株
② 期末自己株式数	2019年11月期 1 Q	2,903,065株	2018年11月期	2,903,014株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年11月期 1 Q	27,082,509株	2018年11月期 1 Q	27,082,811株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が高い水準にあるものの、改善に足踏みがみられるなか、設備投資の増加や雇用・所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米中間の貿易摩擦が世界経済に与える影響が懸念されるなど、景気の先行きは留意すべき状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、前連結会計年度からスタートした3ヵ年経営計画「HOKKO Growing Plan 2020」の達成に向けて、新製品の普及や新規受託品の受注活動に注力しております。

当第1四半期の業績は、農薬事業における水稻育苗箱処理剤などの販売が減少するとともに、ファインケミカル事業における電子材料分野などでの販売が減少したことから、売上高は140億2千4百万円（前年同期比12億8千2百万円の減少、同8.4%減）となりました。この結果、営業利益は、販売手数料など販売費及び一般管理費が減少したものの、16億9千7百万円（前年同期比1億4千万円の減少、同7.6%減）となりました。また、経常利益は、受取配当金が減少しましたが、為替差損の減少により、21億円（前年同期比1億3千5百万円の減少、同6.0%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、15億5千8百万円（前年同期比6千2百万円の減少、同3.8%減）となりました。

事業別の状況は以下のとおりです。

〔農薬事業〕

農薬製品の売上高は、主に国内における水稻育苗箱処理剤などの販売が減少したことから、前年同期比で減収となりました。この結果、本セグメントの売上高は109億8千3百万円（前年同期比10億5千6百万円の減少、同8.8%減）となりました。営業利益は、販売手数料など販売費及び一般管理費が減少したものの、12億4千万円（前年同期比1億5千2百万円の減少、同10.9%減）となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル製品の売上高は、主に電子材料分野での販売が出荷の月ずれなどにより減少したことから、前年同期比で減収となりました。この結果、本セグメントの売上高は30億3千5百万円（前年同期比2億2千6百万円の減少、同6.9%減）となりました。営業利益は、海外子会社における製造コストの低下などにより、ほぼ前期並みの4億5千4百万円（前年同期比1千3百万円の増加、同3.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は465億7千8百万円となり、前連結会計年度末比61億5千7百万円の増加となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加が主な要因です。

負債の残高は213億4千6百万円となり、前連結会計年度末比51億4百万円の増加となりました。これは、短期借入金の増加が主な要因です。

純資産の残高は252億3千1百万円となり、前連結会計年度末比10億5千3百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月期の連結業績予想につきましては、2019年1月11日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,259	944
受取手形及び売掛金	10,529	18,176
商品及び製品	9,908	9,033
仕掛品	354	420
原材料及び貯蔵品	4,574	4,500
その他	336	200
流動資産合計	26,961	33,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,908	4,014
機械装置及び運搬具(純額)	2,065	2,023
土地	976	976
その他(純額)	1,279	1,325
有形固定資産合計	8,228	8,337
無形固定資産	300	282
投資その他の資産		
投資有価証券	4,702	4,309
繰延税金資産	9	169
その他	234	229
貸倒引当金	△12	△22
投資その他の資産合計	4,932	4,685
固定資産合計	13,460	13,304
資産合計	40,421	46,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,920	7,633
短期借入金	136	4,129
1年内返済予定の長期借入金	984	986
未払費用	3,176	1,693
未払法人税等	690	657
賞与引当金	—	220
返品調整引当金	35	4
その他	2,234	2,142
流動負債合計	12,175	17,464
固定負債		
長期借入金	950	750
退職給付に係る負債	2,869	2,902
その他	249	230
固定負債合計	4,068	3,882
負債合計	16,242	21,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	16,598	17,913
自己株式	△1,310	△1,310
株主資本合計	21,111	22,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,540	2,267
為替換算調整勘定	102	120
退職給付に係る調整累計額	426	419
その他の包括利益累計額合計	3,068	2,806
純資産合計	24,179	25,231
負債純資産合計	40,421	46,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)
売上高	15,306	14,024
売上原価	11,440	10,411
売上総利益	3,866	3,613
販売費及び一般管理費	2,028	1,916
営業利益	1,838	1,697
営業外収益		
受取利息及び配当金	454	404
受取手数料	20	14
その他	22	33
営業外収益合計	496	451
営業外費用		
支払利息	12	9
為替差損	75	36
その他	11	3
営業外費用合計	98	48
経常利益	2,236	2,100
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	35	4
特別損失合計	35	4
税金等調整前四半期純利益	2,200	2,097
法人税等	579	539
四半期純利益	1,621	1,558
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,621	1,558

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益	1,621	1,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	△273
為替換算調整勘定	2	18
退職給付に係る調整額	14	△7
その他の包括利益合計	△7	△262
四半期包括利益	1,613	1,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,613	1,297

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年12月1日至2018年2月28日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,038	3,261	15,300	6	15,306	—	15,306
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	102	102	△102	—
計	12,038	3,261	15,300	108	15,408	△102	15,306
セグメント利益	1,392	441	1,833	5	1,838	—	1,838

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年12月1日至2019年2月28日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,983	3,035	14,018	6	14,024	—	14,024
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	92	92	△92	—
計	10,983	3,035	14,018	98	14,116	△92	14,024
セグメント利益	1,240	454	1,694	4	1,697	—	1,697

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は、2019年3月8日に締結した株式譲渡契約に基づき、2019年3月18日付で村田長株式会社
の全株式を取得し子会社化いたしました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：村田長株式会社

事業の内容：産業用繊維資材の販売、靴・鞣用繊維資材の販売、
衣料用繊維資材の販売

②企業結合を行った主な理由

当社は、3か年経営計画「HOKKO Growing Plan2020」におきまして、成長戦略の一つの柱として「事業分野・領域の拡張」を掲げ、シナジー効果が期待できる分野・領域での、アライアンスやM&Aを活用した新たな事業の展開を検討してまいりました。

130年を超える社歴を有する村田長株式会社は、老舗の繊維問屋から繊維資材の専門商社へとビジネスモデルの転換を実現し、現在では原料からの素材開発と独自の付帯加工により、多機能で高機能な商品を開発・提供しています。その商品は自動車や家具、靴、靴、アパレル、ペット、防災、介護などの幅広い分野で活用されています。

当社では、同社を子会社化することで、ユーザーニーズや需要動向を踏まえた素材の開発・生産が可能になるだけでなく、同社の持つスキル、ノウハウ、ネットワークなどを当社の生産・製造機能および研究開発機能、並びに子会社北興産業株式会社（防菌防カビ剤およびファインケミカル製品の販売）のマーケティング機能と融合することで、シナジー効果の発揮と新たな付加価値の創造を目指してまいります。

③企業結合日

2019年3月18日

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

変更はありません。

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	450百万円
取得原価		450百万円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 21百万円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。